

「世界の恒久平和と核兵器廃絶を希求する兵庫県宣言」決議



兵庫県の歴史を振り返るとき、第二次世界大戦において、国内外で多数の県民のかけがえのない命が失われ、たび重なる空襲により県土は焦土と化した、あの惨禍を決して忘れてはならない。

本県議会においては、これまで、戦後50年となる平成7年に「核実験に反対し核兵器の廃絶を求める決議」を行うなど、世界の恒久平和の実現を願い、核兵器の廃絶を強く求めてきた。

しかしながら、今なお、世界各地で紛争が起こり武力が行使されるとともに、大量の核兵器の存在と核兵器拡散のおそれが、世界の平和と人類の生存の大きな脅威となっている。

特に、近年は、国境離島周辺での領海侵犯行為が繰り返されるなど我が国の主権がおびやかされるとともに、北朝鮮によるたび重なる核実験や弾道ミサイルの発射は、世界の安全保障に大きな緊張と不安を与えている。

我が国は唯一の被爆国として、広島、長崎の悲劇を絶対に繰り返させてはならない。核兵器の廃絶は我が国国民そして県民の総意である。

よって、本県議会は、次の世代に平和で安心な兵庫を引き継いでいくための一層の努力を行うこと、そして、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を強く希求するものであることをここに宣言する。

以上、決議する。

平成29年12月14日 兵庫県議会

借り上げ復興住宅 継続入居を

県とURとの借り上げ契約期間が20年であることを理由に、入居時

神戸市 東灘区 **きだ 結**

に何も知らされていない借り上げ復興県営住宅入居者に県が退去を迫っている問題で、入居者を中心とした運動により、UR借上県営住宅では有識者で構成される判定委員会に申請すれば、個別の事情が考慮され、継続入居がほぼ認められています。年齢に関係なく希望者全員の入居が認められるよう引き続きがんばります。



神戸市、西宮市では、市が入居者を追い出すため裁判を起しています。裁判闘争支援のついで、入居者を激励するきだ結県議（写真右から3人目）と神戸市議

宝塚の歴史と文化を生かしたまちづくりを!

ファミリーランドからガーデンフィールズへの跡地

宝塚市 **ねりき恵子**

宝塚植物園が昭和2年に開園、その後ファミリーランド、ガーデンフィールズとなった跡地。一部を市が買い取り、新しい芸術・文化施設と庭園の整備を進めています。

ねりき恵子県議は、宝塚花の道・宝塚大劇場・手塚治虫記念館から宝塚文化創造館へと宝塚の歴史と文化を生かしたまちづくりを求めています。

宝塚ホテルの保存活用を

1926年築。県の景観形成重要建造物指定。



阪神モダニズム



植物園時代の石造のテラスと、後方の手塚治虫記念館。

要求実現のために、各地・各分野で奮闘

子育て応援の県政を

兵庫県では待機児童数が3年連続増加。入江次郎県議がおこなった保育士との懇談では、「受け入れたくても受け入れられない」「子育て世帯も保育士も条件のいい自治体に流れる」などの声がだされました。日本共産党県議団は、認可保育施設の増設、「保育の質」確保、保育料無償化、保育士の処遇改善などを国・県に求めています。



保育士の皆さんらと懇談する入江次郎県議と谷川まゆみ姫路市議。

姫路市 **入江 次郎**

建設現場での事故を繰り返させるな

日本共産党県議団は、1年半で6件、14人が死傷する重大事故を起こしている新名神高速道路について、現地調査もおこない、ネクスコ西日本、県当局、国交省近畿地方整備局などに事故の原因究明と再発防止策を繰り返しもとめてきました。庄本えつこ県議は、県議団を代表し、2017年11月14日の事故をうけ、国会議員秘書らと兵庫労働局へ申し入れました。庄本県議は、「工期を2年前倒しで進めたことが安全対策をないがしろにし重大事故につながった。重く受け止め再発防止策を講ずべき」と訴えました。



昨年11月29日、県労働局に再発防止などを申し入れる庄本えつこ県議。

尼崎市 **庄本えつこ**

エスコートゾーンの設置が実現

いそみ恵子県議員は、皆さんの切実な声をお聞きし、そのねがい実現のために奮闘しています。

この間、視覚障がい者の方々から、西宮市議団をつうじてエスコートゾーン設置の要望をうけ、西宮警察署等に働きかけ、市の総合福祉センターにつながるJR西宮駅南の国道2号線に設置が実現しました。

引き続き、駅のホームドア、可動式ホーム柵の普及など、交通のバリアフリー化をすすめます。

エスコートゾーンとは

視覚障がい者が横断歩道から外れることなく道路を横断できるように配慮された設備。



西宮市 **いそみ恵子**